

## 令和6年度「全ての人を楽しめる市民参加型 「横浜マラソン」に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q2の「横浜マラソンを知ったきっかけ」の質問に対して、「ウ 市の広報媒体（広報よこはま・横浜市公式 SNS・広報番組など）」を選んだ方が67.8%と最も多く、次いで「エ チラシ・ポスター・サイネージ等の掲出物」が30.0%、「オ テレビ・ラジオ」が26.9%となりました。この結果を踏まえ、今後も市の広報媒体を活用しつつ、街中での掲出物の充実や、交通規制情報などを含むラジオでの周知を図るなど、さまざまな啓発媒体を組み合わせ、より多くの方に横浜マラソンを知っていただくための取組を行っていきます。

### 2 アンケートを実施した感想

Q5の「どんなサービス、サポートがあれば、ランナーとして参加しようと思うか」では、「イ フルマラソン以外のエントリー種目（短い距離や子どもと走れる種目など）の充実」が25.1%と多く、また、Q8の「これまで横浜マラソンに関わらなかった理由」では、「ア 走れる自信がないため」が48.5%、Q12の「今後期待する取組や企画」では「ア 初心者が参加しやすい取組（種目やサービス）の充実」が49.9%と最も多く、初心者でも楽しめる、参加しやすい大会づくりが求められていることを実感する結果となりました。

また、Q13の「横浜マラソンを含む横浜市内で開催するスポーツ大会へのボランティアに参加したいか」では、「イ やるかどうかはわからないが、関心はある」が57.1%と最も多く、多くの方がボランティア活動自体に関心を持っていることも新たな発見となりました。

引き続き、「する、みる、ささえる」誰もが楽しめる大会を目指して、多くの方に参加していただける取組を進めていきます。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただき誠にありがとうございました。

皆様からいただいた貴重なご意見やご感想は、今後の横浜マラソンの運営や取組の参考とさせていただきます。

今後も、「する、みる、ささえる」すべての人を楽しめる大会を目指し、持続可能な大会運営に取り組んでいきます。

長く愛される大会となるよう努めていきますので、引き続き、横浜マラソンへのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

担当：にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。